

DERWENT-ACC-NO: 2000-140426

DERWENT-WEEK: 200013

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Body fluid absorbing goods such as e.g. sanitary towels, diapers, disposable pads - has a pair of elastic belts on the ends of the main absorbent

----- KWIC -----

Basic Abstract Text - ABTX (1):

NOVELTY - Body fluid absorbent (1) has a pair of elastic belts (11) on both the ends to form a V-shaped structure and is looped around the hips when the absorbent is worn.

Basic Abstract Text - ABTX (2):

USE - As sanitary towels, diapers, disposable pads, etc.

Basic Abstract Text - ABTX (3):

ADVANTAGE - Absorption efficiency is high and the pad can be worn by wrapping around the waist. Hence, dislocation is prevented. The absorbent goods is comfortable for wearing. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the top view of the absorbent. (1) Absorbent; ; (11) Elastic belts; ; (14) Central thick strip..

Title - TIX (1):

Body fluid absorbing goods such as e.g. sanitary towels, diapers, disposable pads - has a pair of elastic belts on the ends of the main absorbent

Standard Title Terms - TTX (1):

BODY FLUID ABSORB GOODS SANITARY TOWEL DIAPER DISPOSABLE PAD PAIR ELASTIC BELT END MAIN ABSORB

(19) 日本国特許庁 (J.P.)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-5228

(P2000-5228A)

(43) 公開日 平成12年1月11日 (2000.1.11)

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	テマート (参考)
A 6 1 F 13/15		A 6 1 F 13/18	Z 3 B 0 2 8
A 4 1 B 9/12		A 4 1 B 9/12	E 3 B 0 2 9
A 6 1 F 5/44		A 6 1 F 5/44	H 4 C 0 0 3
		A 4 1 B 13/02	K 4 C 0 9 8
		A 6 1 F 13/18	3 0 2

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全 6 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平10-172608

(22) 出願日 平成10年6月19日 (1998.6.19)

(71) 出願人 000001959

株式会社資生堂

東京都中央区銀座7丁目5番5号

(72) 発明者 小松 寿美玲

神奈川県横浜市港北区新羽町1050 株式会

社資生堂第一リサーチセンター内

(72) 発明者 高橋 隆久

神奈川県横浜市港北区新羽町1050 株式会

社資生堂第一リサーチセンター内

(74) 代理人 100068191

弁理士 清水 修

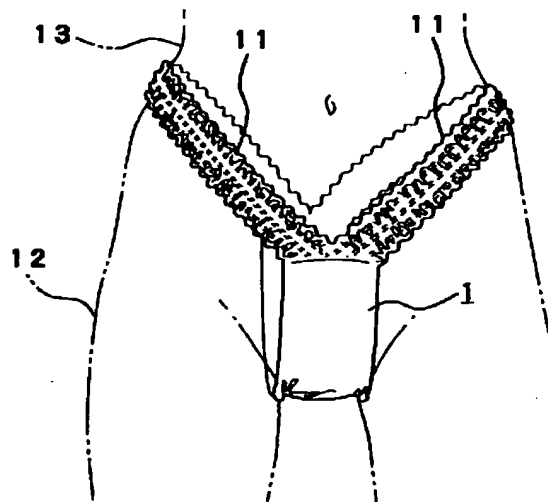
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 体液吸収性物品

(57) 【要約】

【課題】 吸収本体を弾性帯の弾性力により体液流出部に確実に装着し、ズレ等を生じさせることがない。パンツ型の体液吸収性物品と同様に装着を簡易に行う事ができる。パンツ型の体液吸収性物品に比較して素材の使用量を大幅に減少し、装着感が良好で、着衣の外表面から不自然な膨出等を感じさない。

【解決手段】 体液吸収構造を備えた吸収本体1の両端に、一対の弾性帯11を、吸収本体1を介して各々環状に固定する。この吸収本体1を、体液流出部に装着し弾性帯11を腰骨13に係合した状態で、弾性帯11がV字型に配置されるよう構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 体液吸収構造を備えた吸収本体の両端に、一対の弾性帯を、吸収本体を介して各々環状に固定し、吸収本体を体液流出部に装着し弾性帯を腰骨に係合した状態で、弾性帯がV字型に配置されるよう構成した事を特徴とする体液吸収性物品。

【請求項2】 吸収本体は、肌に接触し体液を透過する表面層と体液を透過しない防漏層との間に、体液吸収性の吸収層を配置した事を特徴とする請求項1の体液吸収性物品。

【請求項3】 吸収本体は、肌に接触し体液を透過する表面層側の吸収層に、吸収層よりも幅の狭い中高吸収層を配置したことを特徴とする請求項1又は2の体液吸収性物品。

【請求項4】 吸収本体は、長さ方向の両側にサイドフラップを形成し、このサイドフラップに、弾性部材を備えた立体サイドギャザーを配置したことを特徴とする請求項1、2又は3の体液吸収性物品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は生理用ナプキン、おむつ、失禁用パット、オリモノパット等に使用する事ができる体液吸収性物品に係るものである。

【0002】

【従来の技術】従来、体液吸収性物品には、大別してショーツの内面に配置して使用するナプキンと、腰全体を包むパンツ型のものが存在した。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】そして、ショーツの内面に配置して使用するナプキンに於ては、身体の運動によるショーツのズレ等により、体液の流出部からナプキンがズレて横漏れを生じる事故が発生しやすいものとなっている。また、パンツ型のおむつ等の体液吸収性物品は横漏れ防止効果には有効なものであるが、ナプキンタイプのものに比較し、使用材料が多いため高価となる欠点を有しているし、装着感が悪く装着状態に於ける身体の行動性や、衣服の外観に馴染み等で表れる問題を有していた。

【0004】本発明は上述の如き課題を解決しようとするものであって、体液流出部への装着性を良好とし、ズレ等を生じる事がない。また、素材の使用量をパンツ型のものに比較して減らすとともに装着感を良好とし、装着に違和感を生じる事がないようにしようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、上述の如き課題を解決するため、体液吸収構造を備えた吸収本体の両端に、一対の弾性帯を、吸収本体を介して各々環状に固定し、吸収本体を体液流出部に装着し弾性帯を腰骨に係合した状態で、弾性帯がV字型に配置されるよう構成し

て成るものである。

【0006】また、吸収本体は、肌に接触し体液を透過する表面層と体液を透過しない防漏層との間に、体液吸収性の吸収層を配置したものであっても良い。

【0007】また、吸収本体は、肌に接触し体液を透過する表面層側の吸収層に、吸収層よりも幅の狭い中高吸収層を配置したものであっても良い。

【0008】また、吸収本体は、長さ方向の両側にサイドフラップを形成し、このサイドフラップに、弾性部材を備えた立体サイドギャザーを配置したものであっても良い。

【0009】

【作用】本発明は、上述の如く構成したものであるから、これを身体に装着する場合には、通常のパンツタイプの体液吸収性物品と同様の操作によって身体に装着する。即ち、吸収本体を体液流出部に配置するよう、両足を吸収本体の両側に配置して弾性帯を引き上げ、弾性帯を腰骨位置に係合する。

【0010】このように係合する事により、一対の弾性帯は腰骨を頂点とするV字型に配置され、吸収本体を上方に引き上げる引き上げ力を保持するものとなる。そのため、吸収本体はその弾性帯の弾性力により、体液流出部に押し付けられるように配置され、体液流出部への装着性を良好とする事ができる。

【0011】そのため、身体の運動等によって吸収本体がズレたりする事がなく、横漏れを防止し、体液の流出を確実に防止する事ができる。また、吸収本体は弾性帯の弾性力により、体液流出部に装着されるもので、従来のパンツ型の体液吸収体と比較し、素材の使用量を大幅に減少する事が可能となり、廉価な製品を得る事ができる。

【0012】また、素材の使用量が少ないため、本発明の体液吸収性物品を装着した場合に違和感がなく、パンツ型の体液吸収性物品を装着した場合の如く、着衣の外側から馴染み等の不自然な外観や、着用に於ける使用者の違和感を生じる事がない。

【0013】吸収本体は、肌に接触し体液を透過する表面層と体液を透過しない防漏層との間に、体液吸収性の吸収層を配置したものを使用すれば、構成が簡単で廉価な漏れの生じにくい吸収本体を形成することが可能となる。

【0014】また、吸収本体は、肌に接触し体液を透過する表面層側の吸収層に、吸収層よりも幅の狭い中高吸収層を配置すれば、体液の排出部への密着性が良好となり体液の吸収を確実にする。また、尻側にも中高吸収層を配置すれば、尻の割れ目に中高吸収層が配置されるため、吸収本体のズレを生じにくく、体へのフィット性が良好なものとなる。

【0015】また、吸収本体は、長さ方向の両側にサイドフラップを形成し、このサイドフラップに、弾性部材

3

を備えた立体サイドギャザーを配置すれば、体液の排出部への密着性とズレ防止効果を高めると共に体液の横漏れを防止する事が可能となる。

【0016】

【実施例】以下本発明の一実施例を図面に於て説明すれば、(1)は吸収本体で、肌に接触し、体液を透過する表面層(2)と、体液を透過しない防漏層(3)との間に体液吸収性の吸収層(4)を配置して長方形状に形成する。

【0017】また、この吸収本体(1)は、使用目的、例えば失禁用おむつ、失禁パット、おむつ、生理用ナプキン、オリモノシート等の使用目的に応じて、その形状、吸収層(4)の素材、使用量等を任意に調整する事が可能である。例えば、図3に示す如く吸収層(4)の両側には立体サイドギャザー(5)等を設けることなく形成する。また、図5、図6に示す如く、吸収本体(1)の両側に立体サイドギャザー(5)を形成して、横漏れ防止効果を高めるよう構成しても良い。

【0018】この立体サイドギャザー(5)は、図6に示す如く、吸収層(4)の長さ方向の両側に表面層(2)を突出してサイドフラップ(6)を配置し、このサイドフラップ(6)の表面に固定形成している。立体サイドギャザー(5)は、厚みの大きい嵩高不織布(7)の表面に弾性部材(8)を伸長して接続固定すると共に、外周を撥水性不織布(10)によって被覆することにより形成している。このように形成することにより、弾性部材(8)が収縮すると、立体サイドギャザー(5)は吸収層(4)の両側で立ち上がり、体液の流出部の両側を被覆し横漏れを防止することが出来る。また、この実施例で吸収本体(1)は、防漏層(3)と吸収層(4)との間に体液の吸収紙(16)を介装すると共に、防漏層(3)の外面に外装用不織布(17)を配置する事により、肌への接触感を良好としている。

【0019】また、吸収本体(1)の長さ方向の両端部には弾性帯(11)を配置している。この弾性帯(11)は、両端部を吸収本体(1)の両端に固定することにより、吸収本体(1)を介して各々環状に固定している。そして吸収本体(1)を体液流出部に配置し、弾性帯(11)を図1、図2に示す如く、人体(12)の腰骨(13)に係合した状態に於て、V字型に配置されるよう構成している。

【0020】このように、腰骨(13)に係合した状態に於て、弾性帯(11)がV字型に配置されるよう構成するものであるから、吸収本体(1)に固定した一对の弾性帯(11)がV字型に配置されるように接続固定するのが好ましい。しかしながら、この吸収本体(1)と弾性帯(11)との接続部に於ては、必ずしもV字型に形成する必要はなく、人体(12)への装着状態に於て、一对の弾性帯(11)がV字型に配置されれば良いものである。

【0021】そして、この弾性帯(11)は、図4に示す如く、内部に細いゴム紐、ラテックス帯等の弾性素材(9)を不織布等の間にサンドイッチ状に装着する事により構成しても良いし、この弾性素材(9)の代わりに伸縮

4

性の素材を用いたり、弾性帯(11)を、織り糸により伸縮構造に織り込む事によって構成しても良い。この弾性帯(11)に於て必要な事は、人体(12)の腰骨(13)に係合した状態に於て吸収本体(1)を上部方向に引き上げ、吸収本体(1)を体液流出部に確実に押圧付勢する事ができるものであれば良い。

【0022】また、前記の吸収本体(1)は、肌に接触し体液を透過する表面層(2)側の吸収層(4)に、図7、図8に示す如く、吸収層(4)よりも幅の狭い中高吸収層(14)を配置する事により、体液の排出部への密着性が良好となり体液の吸収を確実にする。また、人体(12)の尻(15)側にも中高吸収層(14)を配置すれば、尻(15)の割れ目に中高吸収層(14)が配置されるため、吸収本体(1)のズレを生じにくく、人体(12)へのフィット性が良好なものとなる。また、吸収層(4)の吸収量を増大することも可能となる。

【0023】上述の如く構成したものに於て、これを装着する場合には、ショーツやパンツを装着する場合と全く同様に身体に装着する事ができる。そのため、ショーツの内面に生理用ナプキンを配置して装着を行う等の手数を全く必要とせず、極めて自然な装着と使用感を得ることが可能となる。

【0024】また、従来のパンツタイプの体液吸収性物品の如く、素材の使用量を多くする事がなく廉価な製造を可能とするとともに装着状態に於て、従来のパンツ型体液吸収性物品の如く、着衣の外観に馴染みが表れて不自然な感覚を与える事がないものである。

【0025】また、吸収本体(1)は上述の如く、長方形状に形成したものであっても良いが、使用目的に応じて図10に示す如く、尻(15)側の後方部分を幅広に形成しても良い。この方法は、生理用ナプキンとして使用する場合には夜間用として用いたり、体液の流出量の多い場合に用いる事が可能である。

【0026】また、失禁用のパット、失禁用のおむつ等として使用する場合には、おしり側を図10に示す如く幅広に形成し、吸収量を増大する事も可能となる。この場合は、図10に示す如く、おしり側に接続する弾性帯(11)は平行に接続され、必ずしもV字型とはなっていないが、人体(12)の腰骨(13)に弾性帯(11)に係合した状態に於て、弾性帯(11)がV字型に配置されれば良いものである。

【0027】

【発明の効果】本発明は、上述の如く構成したものであるから、吸収本体を弾性帯の弾性力により体液流出部に確実に装着し、ズレ等を生じさせることがない。また、パンツ型の体液吸収性物品と同様に装着を極めて簡易に行う事ができるとともに、パンツ型の体液吸収性物品に比較し、素材の使用量を大幅に減少する事ができる。そして、装着感を良好とし、着衣の外側から不自然な膨出等を感じさせることがなく、使用者にとっても違和感の

5

ない使用を可能とする事ができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】人体への装着状態を示す正面図である。

【図2】人体への装着状態を示す背面図である。

【図3】吸収本体部分の拡大図である。

【図4】図3のA-A線断面図である。

【図5】吸収本体にサイドギャザーを設けた状態の平面図である。

【図6】図5のB-B線断面図である。

【図7】吸収本体にサイドギャザーと中高吸収層を設けた状態の平面図である

【図8】図7のC-C線断面図である。

【図9】サイドギャザー及び中高吸収層を設けた吸収本体と尻との配置関係を示す概略図である。

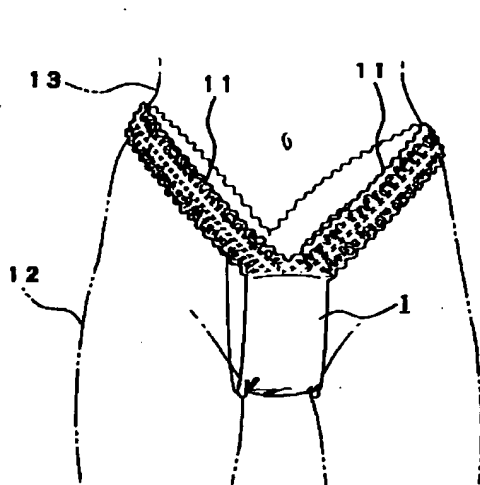
6

【図10】吸収本体部分の異なる実施例を示す平面図である。

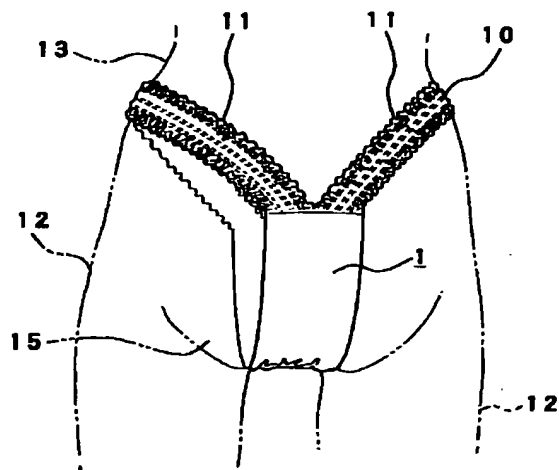
【符号の説明】

- 1 吸収本体
- 2 表面層
- 3 防漏層
- 4 吸収層
- 5 立体サイドギャザー
- 6 サイドフラップ
- 8 弾性部材
- 11 弾性帯
- 13 腰骨
- 14 中高吸収層

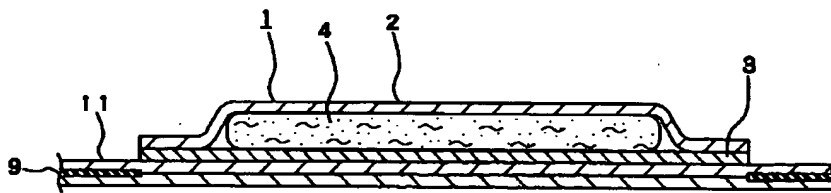
【図1】



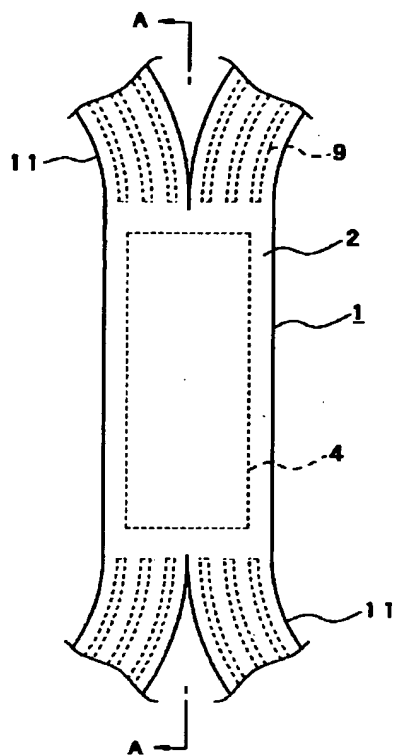
【図2】



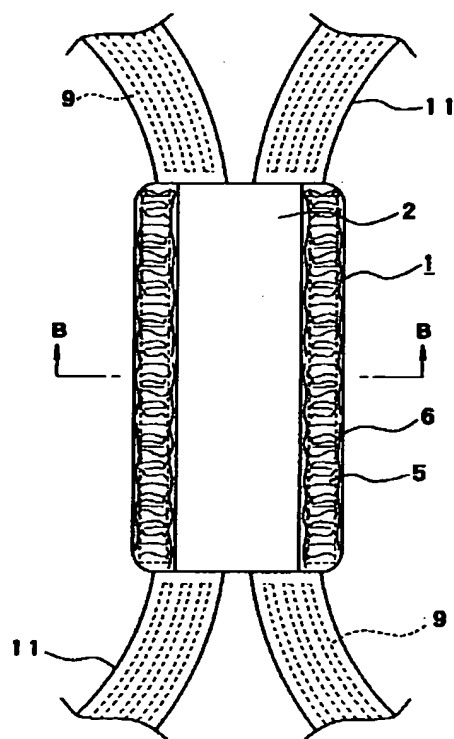
【図4】



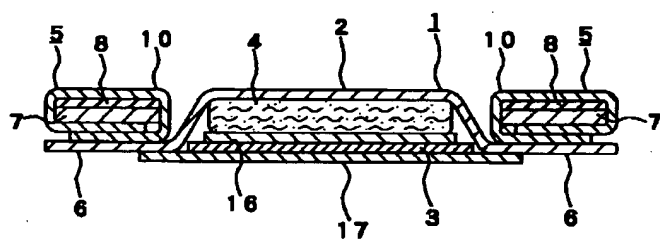
【図3】



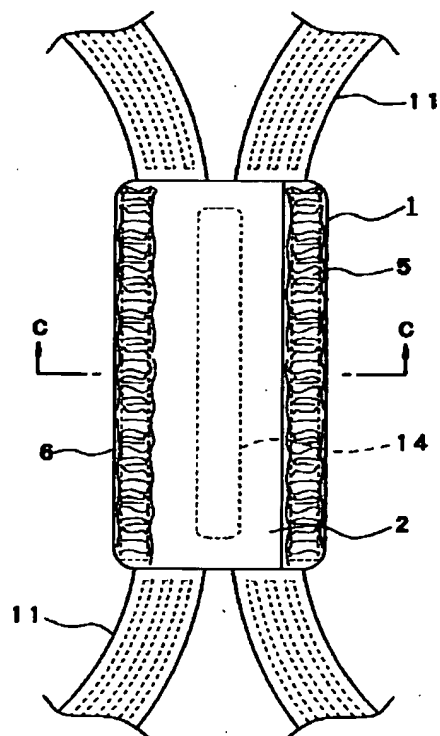
【図5】



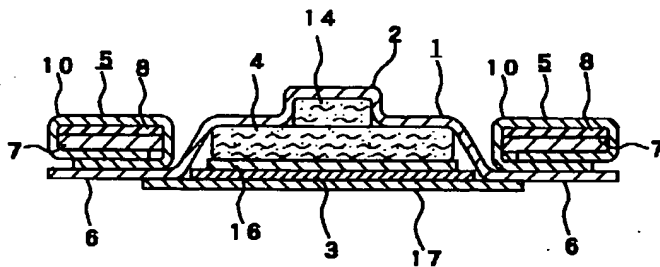
【図6】



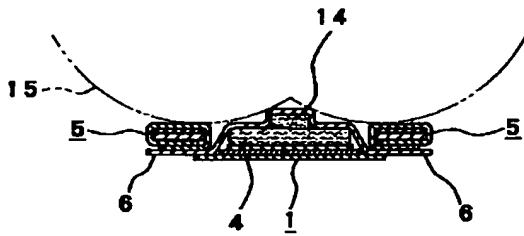
【図7】



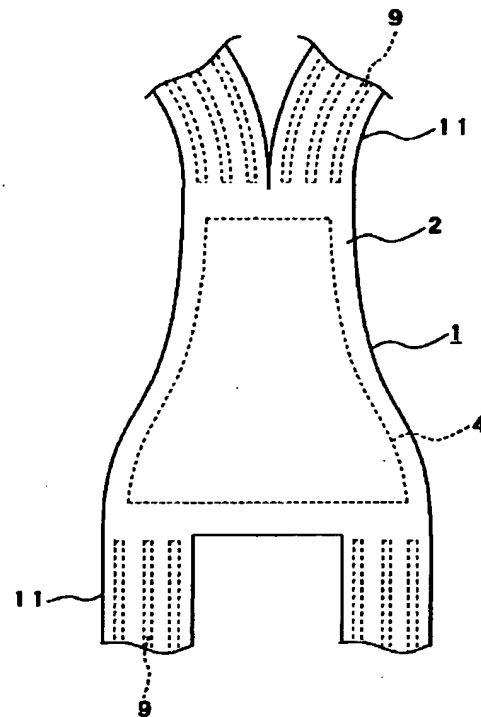
【図8】



【図9】



【図10】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
)

識別記号

F I

ターム(参考)

A 6 1 F 13/18

3 2 0

Fターム(参考) 3B028 EA04 KA01
3B029 BA02 BA05 BD10 BD12
4C003 AA06 DA06 EA03 FA00 HA00
HA05
4C098 AA09 CC02 CC12 CC14 CE12
CE16 DD05